


## ●最近の県内経済

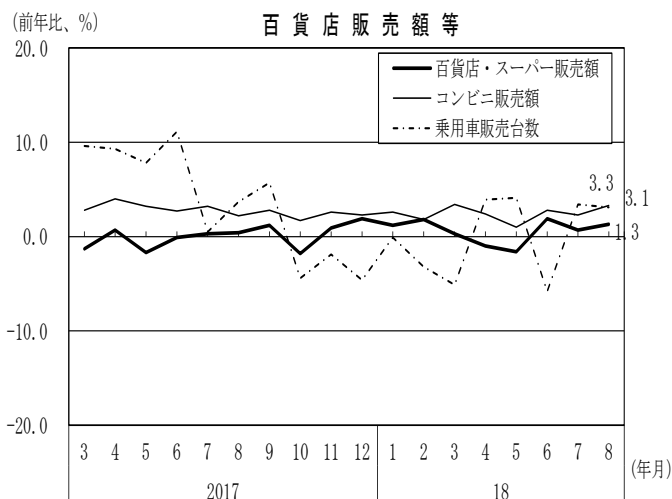
**基調判断**  
(2018年8月を中心として)



**今月の概要**

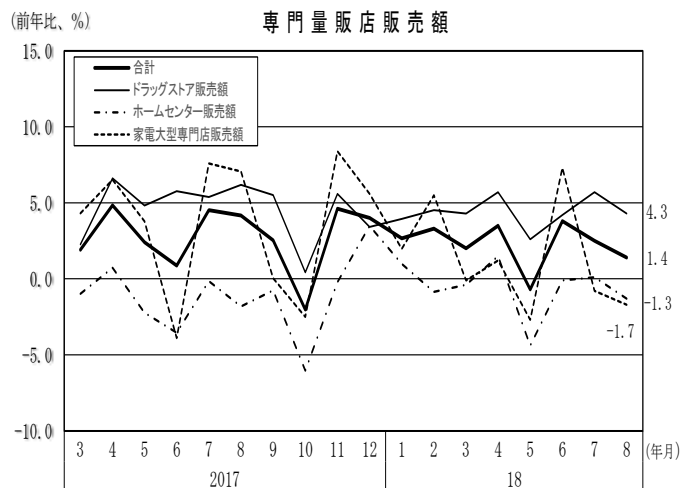
県内景気は緩やかに回復している。

### 1 個人消費 持ち直し



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

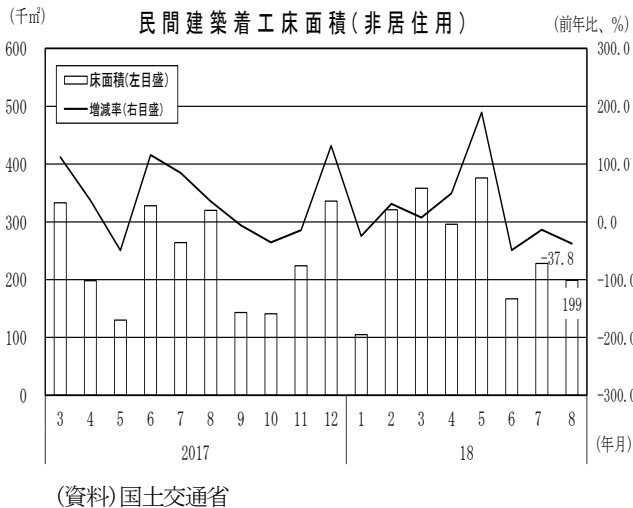
8月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、814億円で前年比1.3%増加した。百貨店は同3.8%減と引続き減少したが、スーパーは同2.4%増加した。コンビニ販売は同3.3%増と堅調に推移している。乗用車販売(軽含む)は、同3.1%増加した。内訳をみると、小型車が同4.3%減と11か月連続減少しているものの、普通車が同8.1%増加し、軽乗用車が同5.1%増と8か月連続増加している。



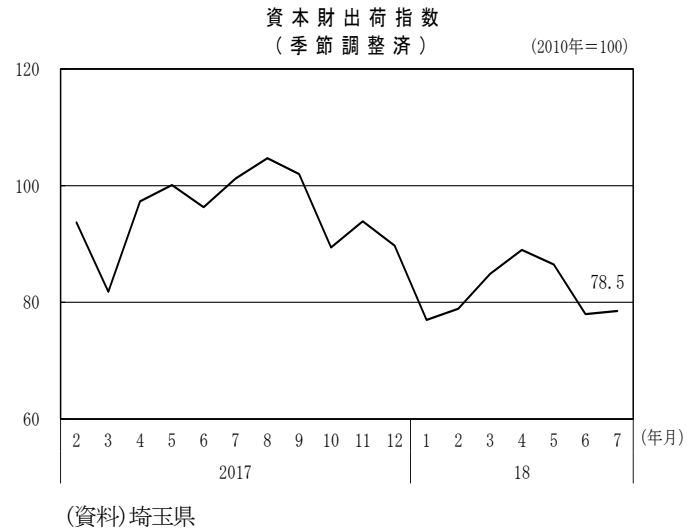
(資料) 経済産業省

8月の専門量販店販売額は、627億円で同1.4%増加した。内訳をみると、家電大型専門店が147億円で同1.7%減、ホームセンターは160億円で同1.3%減と、ともに減少したが、ドラッグストアは321億円で同4.3%増と堅調を継続した。

## 2 設備投資 足元減少

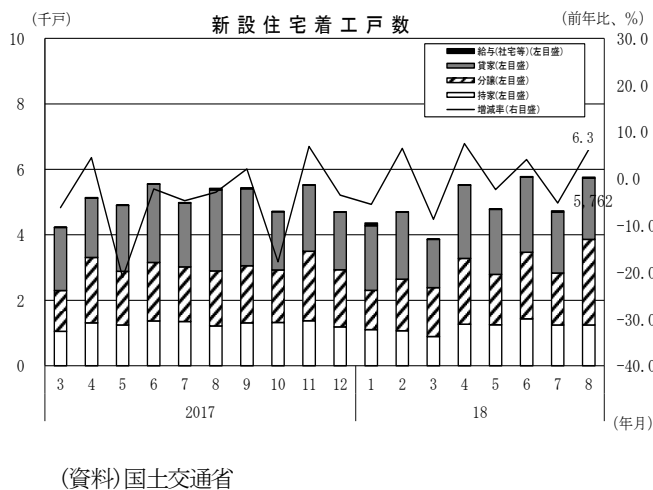


8月の民間建築着工床面積(非居住用)は、199千㎡で前年比37.8%減少した。用途別にみると、工場及び作業場が増加したが、事務所、店舗、倉庫などが減少した。



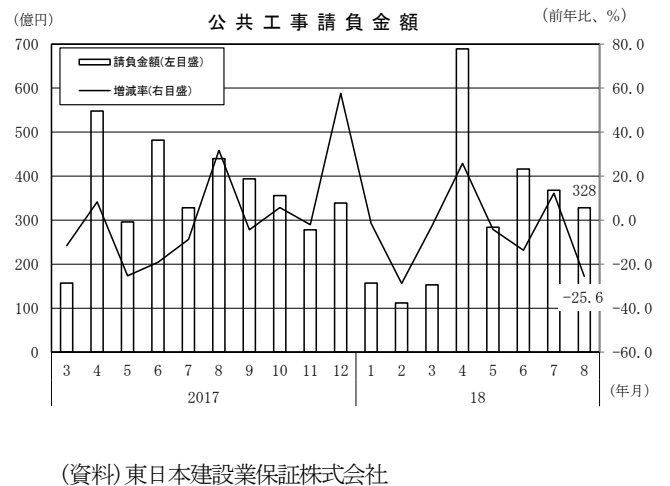
7月の資本財出荷指数(季節調整済)は、78.5で前月比0.6%上昇した。

## 3 住宅建設 横ばいの動き



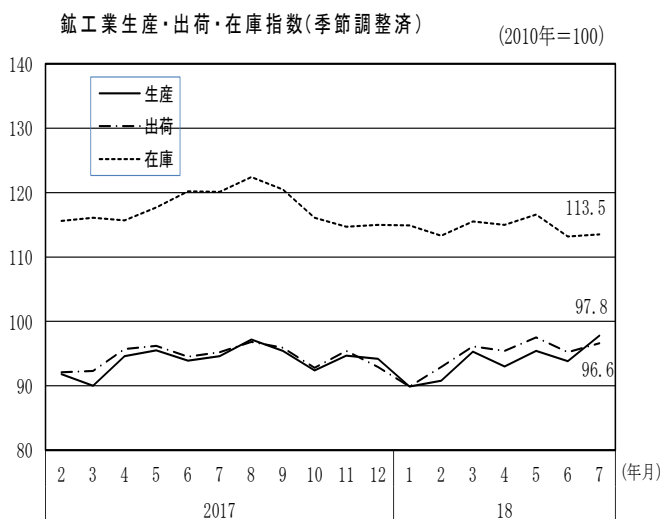
8月の新設住宅着工戸数は、5,762戸で前年比6.3%増加した。8月までの年度累計では前年同期比2.3%の小幅増と横ばいの動き。8月単月を利用関係別にみると、貸家が1,866戸で同24.5%減と減少したものの、分譲マンションが1,278戸で同184.0%増と大幅に増加し、持家が1,247戸で同2.5%増、分譲戸建てが1,339戸で同9.7%増と、ともに増加した。

## 4 公共工事 足元減少



8月の公共工事請負額は、328億円で前年比25.6%減少した。発注者別でみると独立行政法人等が増加したものの、国、県、市町村などが減少した。

## 5 生産活動 一進一退

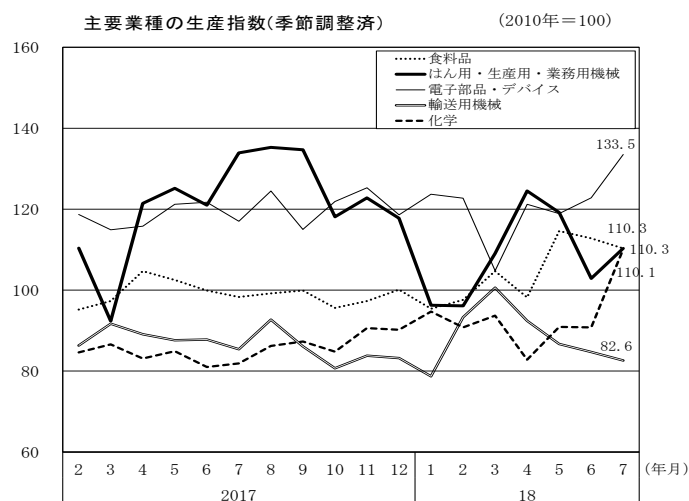


(資料)埼玉県

7月の生産指数(季節調整済)は、97.8で前月比4.3%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送用機械(乗用車)などが低下したが、化学(医薬品、化粧品)、業務用機械(医療用機械器具)、電子部品・デバイス(集積回路)などが上昇した。

出荷指数(同)は、96.6で同1.5%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送用機械(乗用車)、窯業・土石製品(セメント)などが低下したが、業務用機械(医療用機械器具)、化学(医薬品、化粧品)、電子部品・デバイス(集積回路)などが上昇した。

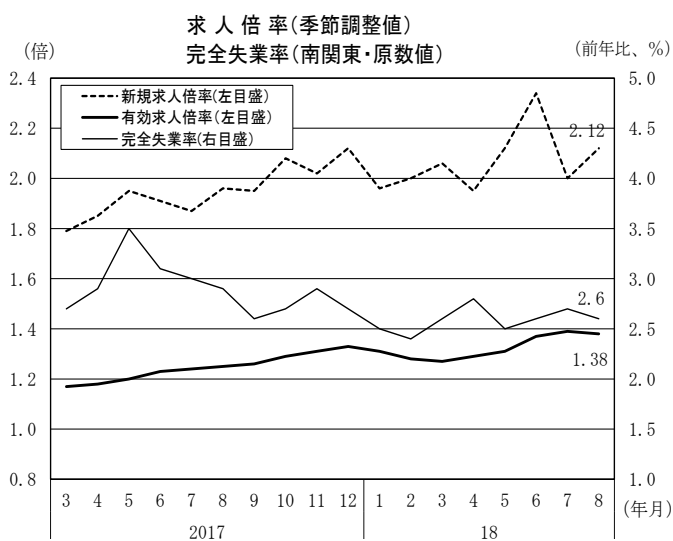
在庫指数(同)は、113.5で同0.3%上昇した(2か月ぶりの上昇)。金属製品(食缶)、窯業・土石製品(セメント)などが低下したが、非鉄金属(アルミニウム圧延製品)、化学(印刷インキ)、電子部品・デバイス(半導体集積回路)などが上昇した。



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、110.3で前月比2.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ はん用・生産用・業務用機械(同)は、110.3で同7.2%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は133.5で同8.7%上昇し、2か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送用機械(同)は、82.6で同2.5%低下し、4か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、110.1で同21.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

## 6 雇用情勢 着実に改善

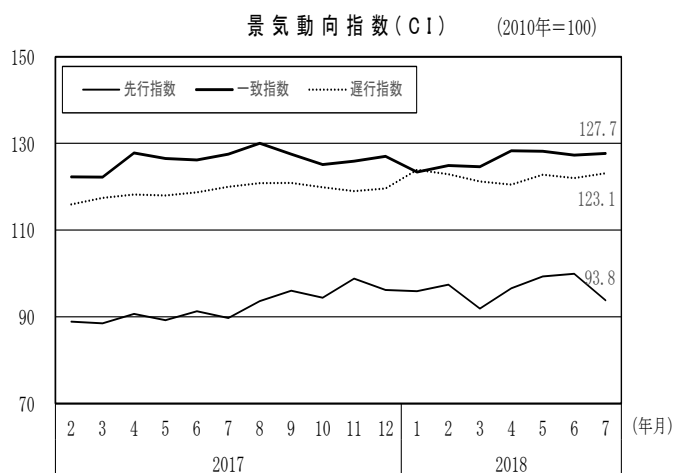


(資料)厚生労働省、総務省

8月の有効求人倍率(季節調整済)は1.38倍で前月比0.01ポイント低下したが、新規求人倍率(同)は2.12倍で同0.12ポイント上昇した。完全失業率(南関東、原数値)は、同0.1ポイント低下の2.6%と低水準で推移している。

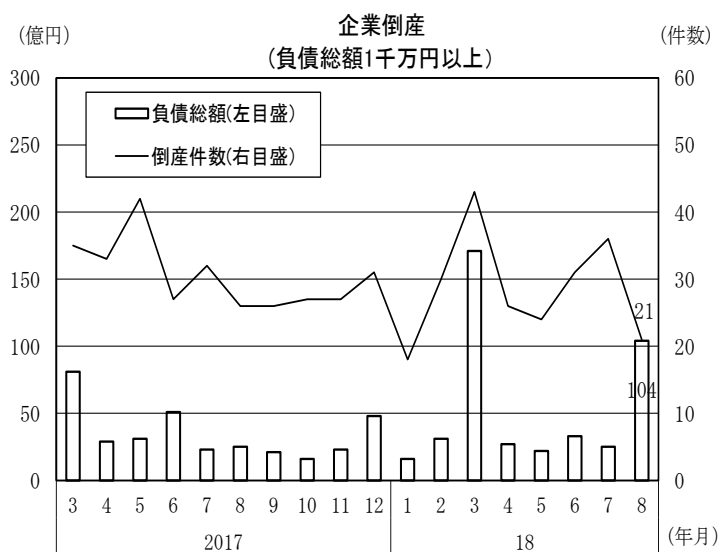
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 下げ止まりを示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数は減少、負債総額は増加



(資料)帝国データバンク

8月の企業倒産件数は、21件で前年比5件の減少、負債総額は104億円で同79億円の増加となった。

業種別にみると、建設業が9件で最も多く、次いで卸売業とサービス業がそれぞれ4件、小売業が3件となっている。主因別では、販売不振が19件で最も多くなっている。

7月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、127.7で前月比0.4ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、93.8で前月比6.1ポイント低下し、4か月ぶりの低下となった。

CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、123.1で前月比1.1ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。